

おばなざわ

# ボランティアだより

第24号

平成26年12月15日発行  
編集発行  
尾花沢市社会福祉協議会  
尾花沢市ボランティア連絡協議会  
東光館内 ☎22-1092



## 玉野中学校3年生福祉体験学習

平成26年10月17日(金)玉野中学校体育館で、高齢者疑似、盲人、車いすをそれぞれ体験学習しました。高齢者疑似体験では、身体の片側に腕とひざにサポーターを付け、手首足首におもりバンドをし、目は白内障を体験できるメガネをかけて挑みました。車いす体験の時には、普通に車いすを操作することは出来ても、ちょっとした段差に苦しんだり、車いすに乗った状態でバスケットボールを投げるつらさを改めて感じ取っていたようです。「目が見えないって怖い!」という声も聞かれ、障害を持って生活することの大変さを学んでいました。



## 復興支援ボランティア んまあーいスイカと花笠踊りで交流

尾花沢市ボランティア連絡協議会  
会長 大類 よし子

師走を迎え、皆様にはなにかとお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。今年各地で甚大な被害が多く発生しておりますが、ニュースを見る度に災害ボランティアの重要性を痛感しております。

さて、当会では五月三十一日、市の公募による岩沼市「千年希望の丘植樹祭」に社協の職員と共に四十五名で参加しました。「千年希望の丘」は津波で流された集落地跡でメモリアル公園としても整備をすすめられておるそうです。植樹の場所は、再生可能な震災廃棄物を活用し築造された防潮堤の斜面での作業でした。木の種類は数多くありましたが、名も分からないまま、みんな「元気に育つてなあ」と声をかけながら植えましました。六ヶ月すぎた今、元気に育っていると信じています。

七月三十一日社協主催の「サマーマヤングボランティアスクール」が開催されました。参加された生徒さんは午前中車イス体験と消防署での災害時の学習でした。昼食のカレー作りはボランティアの役割です。カレーは美味しいと言って食べてくれるので子供達の人気メニューです。午後は絵手紙教室です。生徒さんとボランティアの会員が一緒に作り鈴木正司先生より御指導いただきました。自分の思いをしっかりと描き、出来上がりの手紙を嬉しそうに見つめる顔は素敵で印象的でした。鈴

木正司先生有難うございました。

八月二日復興支援ボランティア実施。今回で四年目になります。JAおばなざわさんが提供して下さった、んまあーい大きいスイカを八十個持参して岩沼市仮設住宅を訪問し大勢の方に振る舞いました。当日は好天気に恵まれスイカを食べてもうらには絶好の日和、家族へのおみやげを頼む方も多く、喜んでもらい嬉しかったです。併せて花笠おどり、とんと昔語り、おなじみになったお客様とお姫様のおどり、どれも人気抜群で心の通う交流となりました。今年も私達の昼食は岩沼市社協さんの気配りをいただき、おもてなしボランティアの本郷ちよ子さんをはじめみなさんが心を込めて作ってくださいました。私達も満腹、楽しい昼食タイムを過ごしました。今年の四月尾花沢市社協と岩沼市社協が大規模災害発生時における相互支援協定を結んだことで復興支援の絆もより強くなったように思っております。今冬も岩沼市の皆さんがおばね雪ほり隊に参加してくださいと聞いております。ボランティア連協としてあったかい料理でもてなしをしたいと今から心待ちしておるところです。今後ボランティア活動をよろしくお願い致します。

## ボランティア団体紹介

### 「しらゆり会」の名の由来

母子寡婦福祉連合会 西塚 憲子

私たちの団体は、「しらゆり会」という名称で施設ボランティアを行っております。



「しらゆり」の花には、けわしき山路のしらゆりは、雨にも風にも耐えて咲くと、歌いながら全国母子寡婦の仲間たちが、「しらゆり」という名称の下で何らかの事業を実施しております。

私たちは、清掃やオムツたたみ等の施設ボランティアを行い、近況を語りあっておりますが、いつの日か歌やおどりで、しらゆりの花のように輝けるよう努めていくつもりです。

### 子供たちとのふれあいを求めて

悠美会 加藤 朋子

悠美会のボランティア活動のなかで、4年前から始めた「三世交代交流絵手紙教室」。今年は、地域の子供会との共催で「子・親・孫の絵手紙教室」と題して開催しました。

子供15人、大人15人の参加がありました。始ま



るまではワイワイガヤガヤとにぎやかな子供たちも、指導者の鈴木正司先生の話しが始まると、無駄話しもやめて真剣に聞き入り、絵筆をとつている姿は学校の授業を思わせるようでした。

側にいるお母さん、おばあさんたちも、子供の絵を見ながら一緒に書いている姿は微笑ましいかぎりでした。

最後に画材で使ったスイカをみんなで食べ、また鈴木先生からは「子供でなければ書けない絵手紙、子供たちの感性が光ってる」とのお話があり、終始賑やかで楽しい教室でした。

福原地区も今年4月に4つの小学校が1校に統合になり、地区の子供たちはバス通学となった為に、地区で子供の顔を見る機会が本当に少なくなりました。

これからも、出来る限り子供たちの交流のある事業を行い、子供たちの関わりを持ちたいと思っています。



更生保護女性会 齊藤 ムツ子

私たち更女の活動内容を報告します。

毎月一回第一金曜日に長寿園ボランティアアタムの世話をしています。また、第二金曜日は花笠地域安全活動で警察署の方や他のボランティア団体の方と大型スーパーの前で犯罪や事故に合わないようにチラシを配っています。

子育て支援では、市内各小学校で読み聞かせ、福原小学校と常盤小学校の放課後子供教室への支援活動を、また更生施設の置賜学院羽陽和光会へ尾花沢スイカを持参しての訪問は二十一年間通って行っています。会員みんなの協力で笑顔で楽しくがモットーです。

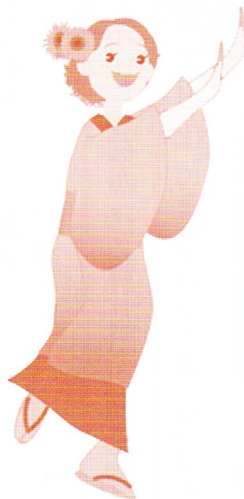


商工会女性部 柴崎 玲子

今年のボランティア活動は、和光園のお誕生会からスタートして、長寿園の七夕祭などに参加させていただきました。

普段は踊りや唄などで活動していない私たちが、依頼があれば下手の横好きとばかりに練習に励みます。決して上手とはいえませんが、利用者の方々が手拍子を取りながら笑顔で見てくださる姿に私たちは逆に癒されます。

これからも、会員一同切磋琢磨し、楽しみながらボランティア活動に参加し、多くのことを学ばせていただきたいと思います。



むつみ会 横澤 義英

私たちむつみ会のメンバーは十一人います。みな身体に大きな障害を持っていますが、月一回の「むつみ会例会」には元気に集まってくれています。

4月は「カラオケハウスはながさ」でのカラオケ、6月は南陽市にある諏訪神社のシャクヤクを見学してきました。もう一週間早く見ることが出



来ればよかったと悔やんでいるところでした。  
7月はまたカラオケをし、9月は徳良湖の近くの「百笑家姫」で芋煮会を開催しました。みんな毎回楽しみにして参加しています。  
みんな大きな障害を負っていますが、楽しく活動していきたいと思っています。

**ふくらむ会 三宅 喜久子**

私たち宮沢地区のボランティア団体ふくらむ会は会員十五名、食生活改善推進員のメンバーです。お互いに助け合いの精神を持ち楽しく活動しています。雪解けと共に万寿荘の花植え、入居者の皆さんとも顔馴染みになり、今年もまたパワーをもらって参りました。

十二月に入り、高齢者一人暮らしへの弁当づくりでは、心のこもった料理、パランスの取れた品々、地産地消にこだわって提供しています。「おいしかったよ。」



ありがとう。」の言葉を頂いた時にはまた頑張ろうと意欲がわいてきます。これからも続けていきたいと思っています。

**たんぼほ会 安野 百合子**

現手をつなぐ育成会の有志が集まり発足して十年になります。身体障害児の親ですが、一緒に活動してきました。今年はNPO法人はながさで

ボランティアと育成会  
の行事へ参加、岩沼市へスイカを持って復興支援へ行ってきました。

とても美味しいと喜んで頂きました。私たちが色々な方々の支援を頂き、子供たちは大人になりました。障害があっても永く幸せに、友達に囲まれて生活できる場をひとつでも多くが会の夢です。その手伝いができたらと、研修や施設訪問等をして学んでいます。



**おはなし会「ふきのとう」 三浦 喜代子**

私たちおはなし会「ふきのとう」は、尾花沢市に市民図書館を拠点として活動しているグループです。私たちは、子供たちの喜ぶ顔見たさに保育園や小学校で読み聞かせ、人形劇、紙芝居、エプロンシアターなどを行ってきました。また、学童保育等へも頼まれていくこともあります。

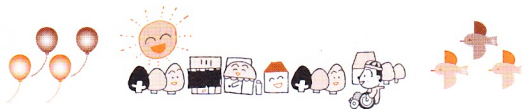
私たちおはなし会「ふきのとう」は、子供たちの声援や喜ぶ顔を心の支えにしながら、明日に向け楽しく活動を行っています。

**りぼん 菅野 亜寿砂**

私たち「りぼん」の主なイベント協力は、保育園や福祉施設等でのパルーンアート作り、街頭募金です。今年、

この他に被災地支援活動にも加わり、岩沼市で行われた植樹祭への参加や仮設住宅にお住まいの方へ





スイカをお届けし、交流を図る事業に参加しました。

今後は、これからの活動に加え、自分たちで企画をするなど、色々な事にチャレンジし活動の幅を広げていきたいと思えます。人と人々を結び、交流の輪を広げていけるように頑張りたいです。

### 高校生ボランティア「風ぐるま」

今年の高校生ボランティアサークル「風ぐるま」の活動内容は、保育園の夕涼み会や特別介護老人ホームおばなざわにてバルーンアートを配ったり、大石田町維新祭や24時間テレビチャリティー基金にスタッフとして参加したり、様々なことにチャレンジしました。

「風ぐるま」のメンバーは、5人全員が3年生と5年生で人員の見通しが厳しいところですが、もしご家族で高校生がいっぱいしゃるなら、ぜひ「風ぐるま」を勧めていただきたいと思います。よろしくお願いします。



## サマーヤングボランティアアスクール2014



サマーヤングボランティアアスクール2014が七月三十一日、

市消防署と東光館で開催されました。市

内小中学生十六人が自動体外式助動器(AED)の使い方を学びました。

今回の「災害の時にはどうするの?寄り添つ心を育てよう」というテーマで行いました。消防署に行くときは車いすで、障がい者の目線で道路を歩いてみたり、災害時に袋でご飯を炊く方法を勉強したり、ボランティア連絡協議会の会員の協力を得て、カレーを作ってもらって一緒に昼食をとりました。

午後からは絵手紙教室



を開催し、日頃の家族への思いなどを込めながらハガキを製作してありました。大人も子供も一緒に学習する機会を設けられてとても有意義なボランティアアスクールになりました。

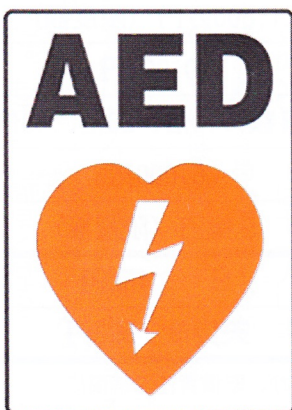
### 個人ボランティア 鈴木俊仁

今年も猛暑になり、毎日のように熱中症で運ばれるニュースが流れていました。

今年のサマーヤングボランティアアスクールは消防署での救命救急。倒れている人に対してのAED、人工呼吸、応急手当などの方法を教わって学びました。

中でも、部活中に倒れてAEDが近くにないか分からなかったり、あっても使用方法が分からなかったり、痛ましい事故に合ってしまったニュースが印象に残っています。

そんなことがないように、市内にAEDの設置場所を分かりやすく示したマップを作って、いつでも取り出すことができるような対策が必要ではないかと感じました。

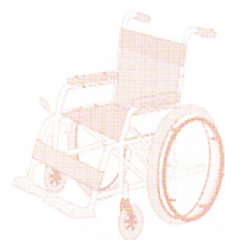




車いすをありがとう

常盤中学校生徒会

来年度、尾花沢中学校と統合することが決まった常盤中学校。今年度で最後といつこともあり、2011年度から三年掛けて車いす2台分のアルミ缶を集めました。今回は尾花沢市社会福祉協議会へ寄付していただきました。活動を通じて、収集活動もボランティアに



繋がること、環境対策にもなることなど、学んだと思います。これから先大人になっても自発的なボランティア活動に期待します。

登録「おばね雪ほり隊」

平成24年度から活動しています「おばね雪ほり隊」ですが、平成26年度より、尾花沢市内のボランティア登録制度を設けました。毎年、冬期間になると県内外から除雪の手伝いにボランティアが駆けつけてくれますが、中でも友好都市でもある岩沼市からの参加が多く、高齢者宅の除雪活動などをしてもらい、本当に助かっています。

去る十一月十九日には、尾花沢市民雪研究会主催の「尾花沢雪対策シンポジウム」が開催され、その冒頭に市内登録者の登録証交付式が行われました。

社会福祉協議会では、随時募集を行っておりますので、ちょっとした空き時間に活動したい、またはスタッフとして参加したいと思っただ方は登録してみたいかがでしょうか。



ボランティア活動保険に加入しましょう

保険金の種類		Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金	手術の種類に応じて入院保険金日額の10倍、20倍、40倍	
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
賠償責任の補償	賠償責任保険金	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)
年間保険料	基本タイプ	A 300円	B 450円
	天災タイプ	天災A 460円	天災B 690円

※天災タイプでは、天災（地震・噴火・津波）に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。



# 地域を救うのは尾花沢市民の力

- ・尾花沢市民の方から広く募集します。
- ・自分に合った時間で活動していただけます。
- ・県内外からボランティアさんが来てくれますので、いろいろな出会いがあります。
- ・連帯感、達成感が感じられる活動にしたいと思っております。是非この機会に参加してみませんか。

## おばね

## 雪ほり隊

登録制

おばね雪ほり隊

### 募集



## 除雪ボランティア



**おばね雪ほり隊**へ登録

FAXまたはメールで登録ください。

事務局より活動日連絡

活動日が決まりましたらご案内情報をお知らせします。

都合のいい日にあわせて参加

時間や日にちの合うときに参加してください。

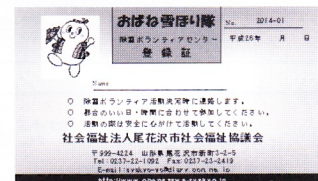
参加記念缶バッチをプレゼント。♡

### お問い合わせ

山形県尾花沢市新町3-2-5 社会福祉法人尾花沢市社会福祉協議会

電話0237-22-1092 FAX0237-23-2419

E-mail:syakyo-vc@diary.ocn.ne.jp





# おばね雪ほり隊 登録申込書

**FAX 0237-23-2419**

尾花沢市社会福祉協議会 あて

①基本事項を記入してください。

申込日 平成 年 月 日

申込区分	<input type="checkbox"/> 個人申込		
	<input type="checkbox"/> グループ申込 (グループ名、グループメンバーの氏名、性別、生年月日、住所を) 任意の様式に記入してください。		
ふりがな		生 年 月 日	
氏 名 <small>グループの場合は 代表者の氏名</small>		昭和 平成 西暦	年 月 日 生まれ  ( 歳)
住 所	〒 -		性別  男 ・ 女
電話番号		FAX	
e-mail			

②希望されるボランティアを  チェックしてください。

運営ボランティア……ボランティアセンターでスタッフとして活動  
 《活動内容》 1時間～4時間程度 (複数選択可)  
 受付・会場準備     炊き出し     ボランティアリーダーとして指導

除雪ボランティア……除雪活動  
 《活動内容》 1時間～4時間程度 対象世帯で除雪活動

災害時ボランティア……尾花沢市だけでなく他市町村の災害時のボランティア活動  
 《活動内容》 災害に応じた活動内容となります。  
 ※こちらに登録された際は、冬期間だけではなく通年の登録となります。ボランティアの要請があった場合にご連絡を差し上げます。都合が合えばご参加お願いします。

「ボランティアだより」や「社協だより」などの広報誌を送らせていただいてもよろしいでしょうか。